

事務事業名	地域自治組織助成事業	会計	一般会計	事業No.	5	施策頭No.	72-001
		事業種別	政策・重点	予算科目	2-1-5-10-5		
政 策	7 自立・連携した地域づくり				課等名	地域づくり・庶務課	
施 策	72 自立に向けた住民組織力の向上	事業期間	開始	19	終了		

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象 誰、何に	各地区まちづくり委員会						A:十分達成した B:どちらかといえば達成した C:どちらかといえでできていない D:ほとんど達成できていない		
		具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度			
		各地区まちづくり委員会数	20	20	20	20	20			
	意図 対象をどう変えるか	地域コミュニティの中核的实践団体であるまちづくり委員会の活動の活性化							目標達成度 B	
		事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績			23年度目標
		市民意識調査において、参加している社会活動として「まちづくり委員会等」と回答した市民の率(%)	13.5	25.8	25.4	27	26.3			28
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	市民意識調査の数値は向上しており、自治活動組織としての「まちづくり委員会」の認知度は向上している。									

事業の制度 (仕組み)説明	・住民のコミュニティ活動を支援するため、各地区まちづくり委員会が行う地域共同共益的活動等に対し助成する(パワーアップ地域交付金)。 ・本交付金は、地域自治組織の導入に伴い制度化されたもので、各地区まちづくり委員会は、交付申請に当たっては地域協議会の意見を聞くことになっている。						
22年度 事業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="271 1021 1050 1048">事業内容</th><th data-bbox="1050 1021 1279 1048">名称</th><th data-bbox="1279 1021 1420 1048">活動量・単位</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="271 1048 1050 1382"> 1 各地区まちづくり委員会が行う地域共同共益的活動等に対する助成(パワーアップ交付金)。 ・各地区の共同共益的な事業に対し総額100,000千円について、均等割30%・人口割70%として各地区に配分し一括交付する。(交付申請、実績報告に当たっては地域協議会から意見聴取を行う) </td><td data-bbox="1050 1048 1279 1382"> 助成件数 </td><td data-bbox="1279 1048 1420 1382"> 20地区 </td></tr> </tbody> </table>	事業内容	名称	活動量・単位	1 各地区まちづくり委員会が行う地域共同共益的活動等に対する助成(パワーアップ交付金)。 ・各地区の共同共益的な事業に対し総額100,000千円について、均等割30%・人口割70%として各地区に配分し一括交付する。(交付申請、実績報告に当たっては地域協議会から意見聴取を行う)	助成件数	20地区
事業内容	名称	活動量・単位					
1 各地区まちづくり委員会が行う地域共同共益的活動等に対する助成(パワーアップ交付金)。 ・各地区の共同共益的な事業に対し総額100,000千円について、均等割30%・人口割70%として各地区に配分し一括交付する。(交付申請、実績報告に当たっては地域協議会から意見聴取を行う)	助成件数	20地区					
23年度 実施計画	<table border="1"> <tbody> <tr> <td data-bbox="271 1382 1050 1706"> 1 各地区まちづくり委員会が行う地域共同共益的活動等に対する助成(パワーアップ交付金)。 ・各地区の共同共益的な事業に対し総額100,000千円について、均等割30%・人口割70%として各地区に配分し一括交付する。(交付申請、実績報告に当たっては地域協議会から意見聴取を行う) </td><td data-bbox="1050 1382 1279 1706"> 助成件数 </td><td data-bbox="1279 1382 1420 1706"> 20地区 </td></tr> </tbody> </table>	1 各地区まちづくり委員会が行う地域共同共益的活動等に対する助成(パワーアップ交付金)。 ・各地区の共同共益的な事業に対し総額100,000千円について、均等割30%・人口割70%として各地区に配分し一括交付する。(交付申請、実績報告に当たっては地域協議会から意見聴取を行う)	助成件数	20地区			
1 各地区まちづくり委員会が行う地域共同共益的活動等に対する助成(パワーアップ交付金)。 ・各地区の共同共益的な事業に対し総額100,000千円について、均等割30%・人口割70%として各地区に配分し一括交付する。(交付申請、実績報告に当たっては地域協議会から意見聴取を行う)	助成件数	20地区					

		(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	
事業費	特定財源					特定財 源内 訳、補 足事項
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他					
	一般財源	100,000	100,000	100,000		
	計 (A)	100,000	100,000	100,000		
	正規職員所要時間		60			
	臨時職員等所要時間					
	人件費計 (B)		215			
	トータルコスト A+B		100,215			

- ・各地区のまちづくり委員会の事業は、拡大する傾向にあり更なる支援を望む声がある。(まちづくり委員会)
- ・交付金の配分方法について、変更を望む意見もある。(まちづくり委員会)

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革 の取組区分	【記載不要】	具体的な 取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比 べての効果額 (千円)	【記載不要】	効果額説明(算 出根拠)、特殊要 因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の 施策への 結びつき	上位施策の目 的	住民組織が、地域で考え地域で活動し、役割を果たせる組 織となること。	施策の成果指 標又はムツ 指標	まちづくり委員会等に参加している市民の率(%)
この事務事業 は施策の目的 達成にどのよ うに貢献しま したか	4年間の振 り返り	地域づくり活動において、一体的、主体的な取り組みが行われてきた。		
	後期に向 けた課題	交付金の交付を継続することにより、活動の活発化が期待できる。		
この事務事業 の成果を向上 させるためにど のような工夫を してきましたか	4年間の振 り返り	交付金の交付決定、精算の段階で地域協議会の意見を求めている。		
	後期に向 けた課題	予算執行、事業推進にあたり、自治振興センター職員が適切な支援、助言を行えるように資質を高める。		
コストを削減す るためにどの ような工夫をし てきましたか	4年間の振 り返り	総額1億円を均等割30%、人口割70%で計算し20地区に配分している。		
	後期に向 けた課題	当面引き続き、総額1億円を均等割30%、人口割70%で計算し20地区に配分する。		
受益者負担の 程度、市が関 与する程度は 適切でしたか	4年間の振 り返り	新しい地域自治組織へ移行する前(H18以前)に交付していた補助金、交付金等総額68,000千円に、32,000千円を上乗せして総額1 億円としたものであり適切である。また、20地区まちづくり委員会の支出総額(H21年度約3億4千万円)に占める交付金の割合は約 30%である。		
	後期に向 けた課題	当面引き続き、総額1億円を均等割30%、人口割70%で計算し20地区に配分する。		
多様な主体の役割 の発揮状況 ①その主体は誰で、 どのような役割を果 たしましたか。 ②その主体が役割を 発揮するために、行 政はどのような働き かけをしてしまし たか、又は、配慮して きましたか	4年間の振 り返り	①主体は、20地区まちづくり委員会であり、地域づくりの多様な主体の中心的役割を果たしている。 ②まちづくり委員会の運営や事業活動がスムーズに推進できるよう様々な支援を行っている。		
	後期に向 けた課題	①今後も、20地区まちづくり委員会が、地域づくりの多様な主体の中心的役割を果たしていかなければならない。 ②そのためには、まちづくり委員会の活動を支援する自治振興センター職員の資質向上を図る必要がある。		
全体を通じて	4年間の振 り返り	20地区それぞれが、地域の特質や課題に応じた主体的・一体的活動を展開してきた。 交付金の配分方法については、見直しを求める意見がある。		
	後期に向 けた課題	事業活動の推進について、まちづくり委員会相互の情報交換等研究を行う機会を充実する。 配分方法の見直しについて、まちづくり委員会連絡会議の場で研究を行う。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

☐ 完了	☐ 拡大	☐ 縮小	☐ 別事業に統合	☐ 休止廃止	☒ 現状維持	☐ 目的見直し	☐ 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------